

防災対策について

林 昌子 議員

質問 防災対策について以下の5点に分けてお尋ねさせていただきます。

- ① 防災無線及び戸別受信機について、どのように検討されているのか
- ② 「被災者支援システム」の導入をどうお考えか
- ③ 学校を拠点とした災害に強い地域づくりについて
- ④ 高齢者や障がい者などの積極的な参加を促す実践的な防災訓練の実施をどのように考えているか、また避難所運営ゲームHUG（ハグ）の導入を考えるとられないか
- ⑤ 「我が家の安心安全ガイドブック」や「災害時あんしんシート」を作成し、全戸配布をされてはどうか

答弁（総務部長） ①村として広報、手段、設備等を

緒に配布いたしたいと考えております。

答弁（教育次長） ③学校

を拠点とした災害に強い地域づくり、そして、子どもたちの防災教育についてお答えいたします。災害はいつ発生するか予測できません。防災に関する正しい知識や災害時の行動の仕方をも身につけさせる防災教育の必要性が高まっています。たとえ子どもであっても、自らが素早く判断して行動しなければいけない。そういう場面を想定し、自らの命は自らが守る、こうした判断、そして行動ができるような子どもたちになってもらう、そうした教育を進めてまいりたいと考えております。

答弁（保健福祉部長） ④

防災訓練について、「高齢者や障がい者などの積極的な参加を促す実践的な訓練の実施を」ということで「HUG、避難所運営ゲームの導入を」ということのご質問で、このゲームは避難施設

に殺到する避難者をどのように配置、誘導できるか、また災害時要援護者への配慮や物資の配給方法などのさまざまな出来事にどう対応していくか、これを疑似体験するゲームで、このゲームを通して避難所運営を学ぶことができます。このことから、避難対象の高齢者や障がい者などの実践的な防災・避難訓練には不向きでございます。高齢者や障がい者など自らの力で避難することが困難な方につきましても、要援護者に該当し、平成21年11月、本村におきましても災害時要援護者登録制度がスタートいたしました。平成24年美浦村地域防災計画が作成され、このことも盛り込まれております。登録者が避難所へ避難する経路を個別に配布し、確認していただいております。庁内情報の共有化の推進と支援体制を整えつつ、防災計画と連携し、防災避難対策を進めてまいります。